

Contents

Topics! 早稲田勢で表彰台独占! 全日本選手権

- 1 平成25年度総会報告
- 2 予餞会の模様
- 3 新入部員紹介
- 4 リレー寄稿
- 5 クラブニュースの郵送等について
- 6 競技会成績
 - 全日本学生個人
 - 全日本学生選抜
- 7 松本潮霞先輩小野梓賞受賞
- 8 関西OB会懇親会の模様
- 9 早稲田アスリートプログラム(WAP)のご紹介



期待の新人たち! 練習場にて

Topics!

早稲田勢で表彰台独占! 全日本選手権 女子63kg級

5月23日~25日、岩手県江刺市において、第74回全日本ウェイトリフティング選手権大会および第28回全日本女子ウェイトリフティング選手権大会が開催されました。

現役部員、OB/OGあわせて12名が出場し、女子63kg級では、松本潮霞先輩(H26卒)が優勝、見附絵莉さん(スポーツ科学部4年)が2位、吉野千枝里先輩(H25卒)が3位入賞し、早稲田勢で表彰台を独占する快挙を成し遂げました。

男子では、武井誠一郎先輩(H24卒)が77kg級で3位と健闘しました。また、他の現役部員たちも上位入賞こそ逃したものの、国内トップレベルの選手が集まる大会試合で競い合い、得られたものは大きく、秋のインカレに向けて、更なる飛躍を誓いました。

出場した選手の皆さん、お疲れ様でした。



階級	氏名	学部学年/年次	S	順位	C&J	順位	TOTAL	順位
男子62kg級	黒江雄治	平成22年卒	105	8	135	8	240	8
男子69kg級	大塚一樹	平成24年卒	125	3	155	4	280	4
	生頼永人	スポーツ科学部 1年	118	9	154	5	272	6
	生頼佑馬	スポーツ科学部 3年	123	6	148	8	271	7
男子77kg級	武井誠一郎	平成24年卒	133	4	170	3	303	3
男子85kg級	安達貴弘	平成25年卒	130	5	165	3	295	4
男子105kg級	菅野真央	社会科学部 3年	133	9	167	7	300	7
女子53kg級	中山桃花	スポーツ科学部 1年	68	4	81	4	149	4
女子63kg級	松本潮霞	平成26年卒	91	1	109	1	200	優勝
	見附絵莉	スポーツ科学部 4年	85	3	105	3	190	準優勝
	吉野千枝里	平成25年卒	83	5	106	2	189	3
	高岸冨佳	社会科学部 4年	84	4	100	5	184	5

平成25年度総会報告

3月23日、染谷記念国際会館において、稲門ウェイトリフティングクラブの平成25年度総会が開催されました。短い時間ではありましたが、各議案について、本会の目的を達成すべく建設的な議論が交わされました。遅くなりましたが、以下に要旨をご報告いたします。ご出席いただいた先輩の皆さま、ありがとうございました。

【出席者】※敬称略

鈴木靖二(S43) 高橋 明(S46) 鶴飼信一(S46) 正木隆至(S48) 岡田文男(S49)
志田典明(S51) 野中弘一(H01) 岡田純一(H02) 吉岡史生(H13) 蔵山潤哉(H21)

【議事要旨】

[議題1] 平成25年度活動報告及び収支決算報告/監査報告に関する件

役員より、平成25年度の活動及び収支決算、ならびに監査結果について報告し、満場一致で承認されました。詳細は以下のとおりです。

*「会費」は予算の目標額に届きませんでした。計170万4千円の納入がありました。先輩皆さまのご理解ご協力に感謝いたします。

*「特別積立金(60周年記念事業等)」から14万円を借り入れ、平成25年に36個作成した卒業生記念品(木製バーベル)の代金支払いに充てました。

* 国際競技会派遣選手支援のため、オフィシャルTシャツ等の助成金付販売を実施し、その収益金を計上しました。

*「卒部生記念品代/特別積立金(60周年記念事業等)借入金返済」は2万円を返済(平成21年度借り入れ分完済)しました。

*「インカレ・早慶戦観戦会員補助」は、試合会場でサポート/観戦いただいた会員に対し弁当と飲み物を提供しました。

*「地域会員懇親会援助費」は、昨年10月「東京国体に伴うオール早稲田懇親会」開催に伴い予算どおり支出しました。

*「通信費・消耗品費」は、年3回のクラブニュース発行のため支出しました。うち1回について幹事が所有するプリンタを利用して印刷を行ったこと、およびメール会員の増により実績額が抑えられました。現在、電子メール配信の協力者が100名を超えました。経費節減へのご協力、誠にありがとうございます。

*「会議費」は、3月(2月大雪のため延期)に部の新幹部との対話会を開催し、補助を支出しました。

*「予備費」にて、法大インカレ優勝祝賀会参加費を支出しました。また、昭和33年卒・小島克夫先輩のご逝去に伴い生花をお供えました。

* 特別会計「特別積立金(部遠征補助等)」よりアジアジュニア選手権(キルギス)、日韓中フレンドシップ大会(韓国)、ユニバーシアード競技大会(ロシア)、東アジア競技大会(中国)代表選手派遣に伴い遠征補助計12万円を支出し、相当分をオフィシャルTシャツ助成金付販売収益金を財源として積み立てました。

* 特別会計「特別積立金(60周年記念事業等)」は、予算どおり12万円を積み立てました。

[議題2] 地域会員懇親会援助費に関する件

4月に宝塚温泉で開催される関西OB懇親会に対し、会員相互の親睦を図るとともに今秋大阪で開催予定の男子インカレ2部の応援動員に向けた契機としていただくため、援助を行うことについて提案し、満場一致で承認されました。

[議題3] 通信費節減に向けたプリンタ購入等に関する件

通信費節減に向けた施策として、レーザープリンタの購入によりクラブニュース発行コストの削減を図ることについて提案し、満場一致で承認されました。プリンタは部室内に設置し、部と共用して広報以外にも活用を図ります。

また併せて、今後印刷物の郵送は原則、会費納入会員を対象とすること、および具体的な運営方法について役員に一任していただくことを確認しました。

[議題4] インカレ大阪遠征等支援に向けた施策に関する件

今秋の男子インカレ2部は大阪へ遠征しての試合となることから、部員およびサポートのため同行する先輩の負担軽減を目的として、昨年に引き続き部と協力してオフィシャルTシャツ等の助成金付販売を企画することについて説明し、満場一致で承認されました。

なお、グッズのラインナップや価格等、内容については役員に一任していただくことを確認しました。

[議題5] 平成26年度活動計画及び収支予算に関する件

役員より、平成26年度の活動計画及び収支予算案について説明し、原案どおり承認されました。

*「会費」は、170万4千円を目標に、1人でも多く納入していただけるよう協力の呼び掛けを継続して行います。

*「部への補助」、「新人勧誘費」は、これまでと同額の援助を行います。また、昨年のオフィシャルTシャツ等助成金付販売の収益金の一部を部に還元します。

* 卒業生記念品(木製バーベル台座)に付ける個人名入りの金属プレートを7名分作成します。

* 「卒部生記念品代/特別積立金(60周年記念事業等)借入金返済」は、2万円の返済を予定しています。

* インカレ・早慶戦への参加促進のため、今年度もサポート/観戦会員に対し飲料や弁当の提供を行います。なお、インカレは男女別のスケジュールを考慮し対応します。

* 関西OB懇親会、および国体開催地(長崎)における懇親会参加者に対し援助を行います。

* 広報活動は、「備品購入費」にて専用のレーザープリンタを購入してクラブニュース発行コストの削減を図るとともに、電子メールやWebサイトによる情報発信にシフトしていきます。

* 「特別積立金(60周年記念事業等)」、「特別積立金(部遠征補助等)」は、積み立てを継続します。

[議題6] 会則の変更及び役員を選任に関する件

会の機動性確保のため、会則第7条(役員の種類)に定められている副会長の人数「2~3名」を「若干名」に改めること、及び副会長に数野裕之先輩(S59)を選任することについて説明し、満場一致で承認されました。現在の役員は以下のとおりです。

(1) 会長 鈴木靖二(S43)

(2) 副会長 山内英雄(S42) 中田正剛(S43) 志田典明(S51) 数野裕之(S59/新任)

(3) 幹事長 野中弘一(H01) (4) 会計幹事 蔵山潤哉(H21)

(5) 監事 田口薫(S42) 正木隆至(S48)

[議題7] 稲門体育会代表委員選任の件(報告)

代表委員の選任について、前年度総会において、役員に一任していただいておりますが、川辺三樹先輩(S40)に引き受けていただくことになりましたので、ご報告します。

※ 決算報告および予算の資料は、稲門ウェイトリフティングクラブWebサイトに掲載しておりますので、ご確認ください。

予餞会の模様

総会に引き続き予餞会が開催されました。今年の卒部生は7名で、充実した4年間を振り返りながら、各々の思い出を語ってくれました。卒部生は皆、悔しかったことや思い悩んだことも多かったようですが、早稲田大学ウェイトリフティング部での経験を活かし、社会に出ても活躍してくれることでしょう。また、後輩たちのために恩返しをしたい！と頼もしい言葉もありました。

卒部生の皆さん、4年間お疲れ様でした。おめでとうございます。

<平成26年卒部生>

永山大地(スポ科)、小栗統司(基幹理工)、
雨宮成(スポ科)、
三浦周平(スポ科)、田窪紗香(社会学)、
松本潮霞(社会学)、福田征大(法)



<卒部生挨拶の様子>

新入部員紹介

今年度は男子3名、女子2名の新生が入部しました。いずれも高校時代から全国レベルで活躍してきた選手たちです。将来の活躍が大いに期待される新入部員をご紹介します！

また、皆さんには次の4つの質問に答えていただきました。①なぜ早稲田でウエイトリフティングをやろうと思ったのか。②試合で注目してほしいところは？③早稲田に来て驚いたことは？④今後の目標は？

Security

名前：千葉 健介
(ちば けんすけ)
学部：社会科学部
出身高校：岩手県立水沢高校
ベスト記録：S 90kg C&J 115kg

- ① 歴史と伝統があり、環境もいいから。
- ② バーベルを持ち上げた瞬間。
- ③ 学生の数の多さ。
- ④ 増量！

Security

名前：森川 芳樹
(もりかわ よしき)
学部：スポーツ科学部
出身高校：兵庫県立明石南高校
ベスト記録：S 93kg C&J 125kg

- ① 早稲田大学は学業がトップクラスの大学なので、たくさん知識を得てウエイトリフティングに活用できると思ったからです。
- ② 私はクリーンが得意なので、ぜひ見て欲しいです。
- ③ 小手指駅から所沢キャンパスまで早稲田専用のバスがでているところです。
- ④ 国際試合に出ることです。

Security

名前：中山 桃花
(なかやま ももか)
学部：スポーツ科学部
出身高校：兵庫県立須磨友が丘高校
ベスト記録：S 72kg C&J86kg

- ① 早稲田大学はスポーツをする上で恵まれた環境にあり、またスポーツ医科学に興味があり、そのことについて勉強したかったからです。
- ② 成功したときに笑顔になることです。
- ③ 神戸と比べて坂がないので、通学がとても楽なことです。
- ④ 高校のときには大きな怪我が多かったので、大学では怪我のないようにしていくことです。また、部活動と学業を両立させることです。

Security

名前：生頼 永人
(おうらい ひさと)
学部：スポーツ科学部
出身高校：兵庫県立明石北高校
ベスト記録：S 126 CJ 160

- ① スポーツ推薦で早稲田に入らせてもらったから
- ② 調子いい時のスナッチ
- ③ キャンパス（所沢～早稲田）間が遠すぎることに
- ④ 国際大会で優勝します！

Security

名前：内門 沙綾
(うちかど さあや)

学部：スポーツ科学部

出身高校：宮崎県小林秀峰高校

ベスト記録：S 71/C&J 90

- ① スポーツ科学部で、スポーツに関して詳しく学ぶことができるので、そこで知識を得て、授業で学んだ知識を活かして部活動につなげていけると思ったから。
- ② SとCとJの中ではJが一番得意なので、Jに注目してください。突き上げるような差しではなく、下に潜り込む特徴があります。
- ③ 人の多さと、キャンパス間移動の時間と距離には驚きました。
- ④ 毎日の練習を無駄にしない。国際大会に出場する。

5月31日、戸山キャンパスのカフェテリアにて新入部員歓迎会が盛大に開催されました。

新入部員の皆さん、入部おめでとうございます。長いようで本当に短い4年間です。充実した競技生活・大学生活を送ってください。OB/OG一同、皆さんの活躍を期待しています。



リレー寄稿 あの先輩は今

今回は、昭和43年卒・鈴木伊能勢先輩に投稿していただきました。鈴木伊能勢先輩は学生時代、部に在籍され、平成23年に同期会員からの推薦・総会承認を経て会員となりました。

－努力しても届かない世界があった－

成績が良くないのは勉強しないからで、勉強さえすれば成績は良くなるはずと思っていた。入学したとき身長179センチ、体重61キロ。中学ではハンドボール部、高校は英語部。力自慢だったわけでもない。練習さえすれば結果は出るはず、若気の過ちでそう思ってしまった。4月のある日、文学部の奥にあったウエイトリフティング部の練習場に出かけた。入口の前に立っていたのは鈴木靖二君だった。入部の意向を伝えると私の二の腕をつかんで細さを確かめ「まあ、いいだろう。入れよ」と言った。

それからは過酷な練習の日々。あるとき、練習が終わってふらふらになって帰る私の姿を見かけた同級生に言われた。「まるで幽霊が歩いているようだ」。厳しい練習ではあったが、他の体育会にあったようなしごき、いじめなど一切なかった。自分の記録のための練習だった。しかし二年生になると肉体が悲鳴を上げ始めた。腰を痛めてドクターストップがかかってしまった。

大学は卒業したがクラブは中退。努力では越えられない、素質と適性があることを思い知った。鍛えれば強くなる体と、壊れてしまう体がある。50の素質を鍛えて100にしても、初めから100の素質を鍛えれば200になる。いったい自分は何者なのか、何に取り組むべきなのか。私の本当の人生は退部してから始まったのかもしれない。あの時の先輩や同級生は今どうしているのかと思ひ出す。

現役ならば記録をどこまで伸ばせるか、試合での成績だけが全てかも知れない。でも全員がチャンピオンになれるわけではない。やがて競技生活も終わる時が来る。ウエイトリフティングの成績だけが人生なのか。今の練習のその先に、あなたは何を見ているのですか。

鈴木伊能勢 (S43卒)

【重要】クラブニュース等の郵送について

総会報告にも記載のとおり、今後クラブニュース等印刷物の郵送は原則、会費を納入いただいている方を対象とさせていただきます。なお、今年度のクラブニュース発行につきましては、以下のとおり実施いたします。

発行区分	発行時期	H25年度会費「納入」の方	H25年度会費「未納」の方
Volume.1	6月(本誌)	郵送させていただきます。	
Volume.2	11月(次号)	郵送させていただきます。 (メール配信にご協力ください)	郵送を控させていただきます。 (会費の納入をお願いいたします) ※65歳以上会費免除の方を除く
Volume.3	2015年2月		

競技会成績

2014年度 第60回全日本学生ウエイトリフティング個人選手権大会

2014年度 第26回全日本女子学生ウエイトリフティング選手権大会

5月9日～11日 羽曳野コロシアム

階級	氏名	学部学年	S	順位	C&J	順位	TOTAL	順位
M56kg級	千葉健介	社1	89	4	113	3	202	3
M69kg級	神谷勇斗	ス4	115	5	152	2	267	優勝
	松本浩志	ス3	115	7	135	10	248	9
	生頼佑馬	ス3	0	-	146	6	0	-
M77kg級	梶田大和	ス3	131	2	152	4	283	2
	伊藤大永	ス4	120	8	156	2	276	4
M85kg級	菊池幹広	社4	125	1	135	9	260	7
M105kg級	菅野真央	社3	137	3	164	3	301	2
	武田健	ス2	120	10	159	8	279	10
W53kg級	中山桃花	ス1	69	3	81	3	150	3
W63kg級	見附絵莉	ス4	84	1	104	1	188	優勝

出場選手コメント

神谷 勇斗選手 (M69kg級 優勝)

応援してくださったOB・OGの皆様、本当にありがとうございました。
私自身ウエイトリフティングを始めて全国大会で優勝することが初めてで、それが大学最後の年にそして伝統のある全日本学生個人大会であったことに対し、やっと結果を形に残すことができ嬉しい気持ちです。
このあとには東インカレ、II部インカレが控えているので、気持ちを改め日々精進に励んでいきます。
今後も応援のほどよろしくお願いします。

菅野 真央 選手 (M105kg級 準優勝)

今回の試合では、6本きっちり押さえてC&Jで自己新記録を出すこともできたので非常に良い試合だったと思います。
しかし、根本的な問題として記録がまだまだ低く1位の選手に遠く及ばなかったため、これからも練習に励みます。
応援してくださった皆様、本当にありがとうございました。

— 全日本学生個人戦を観戦して —

5月10日、全日本学生個人選手権大会の観戦・応援に行ってきました。
男子69kg級の試合でしたが、見事！神谷主将の優勝を見届けることができました。鶴飼信一郎長にもお会いできましたし、在阪組では山内英雄先輩 (S42卒) も来ておられました。
私が何とも言えない快さを感じたのは、ウォーミングアップをしている選手がバーベルを差上げて、そのあと床に落とした時の大きな音でした。懐かしい。現役時代練習していたころの様子がよみがえってきました。また、いま練習しているジムではバーベルを床に落とせないため、そのストレスも解消されました！

谷川 吉史 (S45卒)

松本潮霞先輩 小野梓記念賞受賞

一昨年の吉野千枝里先輩 (H25) に続き、2013年度は松本潮霞先輩 (H26) が、学術、芸術、スポーツの三部門において、それぞれ優れた成績を修め、模範となるべき学生に対して贈られる小野梓記念賞 (スポーツ賞) を受賞しました。

学生褒賞の中で最も名誉ある賞です。受賞、誠におめでとうございます。

業績：第24・25回 全日本女子ウエイトリフティング選手権大会 63kg級 優勝 (2年連続)

2014年度 第11回全日本学生ウエイトリフティング選抜大会

4月19日～20日 上尾スポーツ総合センター

階級	氏名	学部学年	S	順位	C&J	順位	TOTAL	順位
M69kg級	生頼佑馬	ス3	124	1	156	1	280	優勝
	生頼永人	ス1	118	3	151	2	269	2
	松本浩志	ス3	114	5	135	6	249	6
	神谷勇斗	ス4	0	-	0	-	0	-
M77kg級	伊藤大永	ス4	0	-	150	5	0	-
M85kg級	梶田大和	ス3	138 大会新	1	157	2	295	2
W53kg級	中山桃花	ス1	66	2	83	2	149	2
	内門沙綾	ス1	63	3	82	3	145	3
W63kg級	見附絵莉	ス4	85	1	101	2	186	優勝
W69kg級	高岸冴佳	社4	83	1	103	1	186	優勝

出場選手コメント

見附 絵莉選手 (W69kg級 優勝)

今回の学生選抜大会に63kg級で出場させていただいた4年の見附です。今回の試合は、去年の学生選抜後に膝の手術をして以来一年ぶりに、思い切り試合が出来る機会でした。

その分楽しみにしていましたし、その気持ちとは裏腹に不安も大きくありました。しかし、周りの方々のたくさんの応援や支えにより、2年連続で優勝することが出来ました。記録はまだですが、今年一年またウエイト人生を楽しみたいと思います。これからも応援よろしくお願ひいたします。

中山 桃花 (W53kg級 準優勝)

今回の学生選抜は、大学に入学してから初めての全国大会でした。

結果自体は成功率が悪く、満足のいくものではありませんでした。しかし、会場の雰囲気など、高校のときとの違いを実感することができました。また、今回の結果を踏まえて、高校の後輩たちに見られても恥ずかしくないような試合ができるようにしたいです。

関西OB懇親会を開催

4月20日、関西OB懇親会を開催しました。

12時30分頃、大阪駅に集合。参加者は、山内英雄 (S42卒)、上野稔、坂本知之、林康昭、榎直樹、谷川吉史 (以上S45卒)、高橋明 (S46卒) の計7名でした。

昼食後 山内先輩が経営する「ジャパンヨガカレッジ」で、先輩の指導 (というより、先輩の施術による) ヨガ、ストレッチなどのレッスンを、約1時間半に渡り受けたのち、宝塚温泉ホテル「若水」に移動し、楽しいひとときを過ごしました。宴会では、リフティング仲間の話はもちろん、世事・プライベートなどなど、話に花が咲きました。(写真は、ジャパンヨガカレッジ教室でのものです)

翌日 (本日)、ホテルで山内先輩と別れた後、6名で清荒神にお参りして心を清め、そのあと「あべのハルカス」で昼食をとり、解散しました。

来年もまたOB懇親会を計画すること。その前に、8月の全日本マスターズ選手権 (兵庫県明石市) と11月のインカレ (大阪府羽曳野市) には極力参加、もしくは応援に行く、ということになっています。

来年度は、平成27年5月17日～18日に、「平成27年W.L.OB懇親会」として東京近辺で開催する予定です。卒業年次を超えてご参集いただきたいと思いますので、ぜひ、予定を入れておいてください。

谷川 吉史 (S45卒)



早稲田アスリートプログラム（WAP）始動！！

2014年度より、早稲田大学の学生アスリートの学業と部活動を両立、および社会性と豊かな人間性を兼ね備えた人格形成のサポートを目的として、「早稲田アスリートプログラム（WAP）」がスタートしました。競技だけではなく、社会に出てからもリーダーシップを発揮できる人材の育成を目指します。

先輩の皆様にも、プログラムの内容をご紹介します。

◆ 早稲田アスリートプログラム(WAP) 概要

「早稲田アスリートプログラム(WAP)」とは、早稲田スポーツの体現者であるすべての体育各部部員（44部・約2,400名）を対象に、競技スポーツセンターが中心となり提供する“学生アスリートの育成プログラム”です。WAPでは組織的かつ統合的な教育プログラムを提供し、標準修業年限（4年間）での卒業を促すとともに、体育各部部員の「文武両道」を高いレベルで実現します。

◆ プログラムの2本の柱

WAPは、学生アスリートの「**人格陶冶のための教育プログラム**」と、各学期ごとに取得すべき基準単位を設定し、標準修業年限（4年間）で卒業できるようサポートする「**修学支援**」の2本の柱から成り立っています。

◆ 1. 人格陶冶のための教育プログラム

単に優れた競技成績を収めることにとどまらず、文武両道を実践し社会の様々な分野でリーダーとして活躍出来る人材となるための基礎を学びます。すべての体育各部部員にオリジナルテキストを配布し、学生アスリートとしての教養やスキルを学びます。また競技スポーツセンターは、学内外から講師を迎え、学年に応じた講演会・セミナーを開催します。また、CourseN@vi等によりオンデマンドコンテンツを配信し、時間的制約のある学生アスリートも学びやすい環境を整備します。

◆ 2. 修学支援

【すべての体育各部部員の学業情報の把握】

各学年・各学期末毎に取得すべき最低基準単位数を定め、標準修業年限（4年間）での卒業をサポートすることで、文武両道を高いレベルで実現します。学業成績が所定の基準に満たない場合には、練習時間の制限や対外試合の出場停止を含む指導を行います。

【アカデミックアドバイザーによるサポート】

部員の修学支援を行うために、単位取得のアドバイスや学習面のサポートを行う「アカデミックアドバイザー」を配置します。

【褒賞】

・最優秀学業成績団体賞

毎年度、部員の平均GPAが最も高い部を団体賞として表彰します。

・最優秀学業成績個人賞・優秀学業成績個人賞

学年毎に平均GPAが高い部員上位10%を優秀学業成績個人賞として表彰し、さらにその中から最優秀賞を個別に表彰します。

引用元：早稲田大学 (<http://waseda-sports.jp/news/35305/>)

お知らせ

～夏合宿～

期間：8/8～8/13 場所：ニュー・グリーンピア津南
※8/8と8/13は移動日
※8/9～8/12はAM/PMトレーニング（予定）

～早慶定期戦～

期日：9/28 場所：慶應大学日吉キャンパス 日吉記念館

先輩皆様のご参加をお待ちしております。なお、合宿にご参加いただける方は、お早めに主務までご一報をお願い致します。

「連絡先」早稲田大学ウエイトリフティング部
主務 菊池幹広（4年）
電話/FAX 03-3202-1090